

令和6年度

那珂川沿岸農業水利事業

現場技術業務

特別仕様書

【当初】

関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所

(適用範囲)

第1条 那珂川沿岸農業水利事業 現場技術業務(以下「本事業」という。)の施行にあたっては、「現場技術業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書 に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

なお、本業務は「現場技術業務の実施要領等について」(平成14年2月6日付け13農振第2788号農林水産省農村振興局長通知)別紙 現場技術業務実施要領第3の1 監督支援型による業務である。

(目的)

第2条 本業務は、那珂川沿岸農業水利事業における工事の設計、監督、関係機関との協議等及び事業実施に関する補助的作業を行うものであり、適正かつ効率的な事業執行と公共工事の品質確保に資することを目的とするものである。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第3条 本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

(管理技術者)

第4条 管理技術者は、技術士(総合技術監理部門(農業-農業土木、農業農村工学)農業部門(農業土木又は農業農村工学))、博士(農学・工学)、1級土木施工管理技士、農業土木技術管理士、シビルコンサルティングマネージャー(農業土木)のいずれかの資格を有する者又はこれと同等の能力と経験を有する技術者でなければならない。

なお、これと同等の能力と経験を有する技術者とは、大学卒13年(短大・高専卒18年、高校卒23年)以上相当の能力と経験を有する者をいう。

(現場技術員)

第5条 現場技術員の技術者区分及び資格は、次のいずれかの者とする。

技術者区分	資格
現場技術員 (C)	<ul style="list-style-type: none">・技術士（総合技術監理部門（農業－農業土木、農業－農業農村工学又は当該業務に該当する技術部門の選択科目））・技術士（農業部門（農業土木又は農業農村工学）又は当該業務に該当する技術部門（選択科目））・1級又は2級土木施工管理技士・大学卒業後2年、短大・高専卒業後4年、高校卒業後6年以上の実務経験を有する者。

現場技術員は、CAD 及び工事の「設計」、「施工計画」、「積算」のいずれにも精通していなければならない。

(配置技術者の確認)

第6条 共通仕様書第1-6条における業務組織表の作成及び共通仕様書第1-7条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1 受注者は、業務実施計画書の業務組織表に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務実施計画書において、業務組織票を変更する際も同様とする。

2 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務実施計画書の業務組織表において位置づけられた技術者を登録対象とする。

(保険の加入)

第7条 受注者は、共通仕様書第1-28条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

(工事の概要)

第8条 本業務を行う工事等の対象となる施設は、次表のとおりである。

対象施設名	施設の場所	工事等の概要
赤沢揚水機場	茨城県東茨城郡城里町御前山地内	ポンプ等
三美機場	茨城県常陸大宮市三美地内	ポンプ等
渡里揚水機場	茨城県水戸市渡里町地内	建屋、ポンプ、水管理等

大杉山揚水機場	茨城県水戸市三の丸地内	場内整備、ポンプ、水管理等
備前堀機場	茨城県水戸市柳町地内	建屋、ポンプ、水管理等
柳沢機場	茨城県ひたちなか市柳沢地内	場内整備、ポンプ等
那珂川揚水機場 (中央管理所)	茨城県水戸市飯富地内	場内整備、水管理、点検等
下江戸揚水機場	茨城県那珂市下江戸地内	ポンプ等
水那幹線水路	茨城県那珂市杉地内ほか	管水路、点検等
常北幹線水路	茨城県東茨城郡城里町上入野地内ほか	管水路等
内茨幹線水路	茨城県水戸市五平地内ほか	管水路等
小野幹線水路	茨城県常陸大宮市小野地内ほか	管水路等
小場江幹線水路	茨城県常陸大宮市三美地内ほか	開水路等
渡里幹線水路	茨城県水戸市中丸町地内ほか	開水路、ゲート設備、水管理等
湊幹線水路	茨城県ひたちなか市柳沢地内ほか	管水路、水管橋等
千波湖送水路	茨城県水戸市三の丸地内ほか	管水路等
備前堀幹線水路	茨城県水戸市柳町地内ほか	開水路・管水路等
御前山ダム	茨城県常陸大宮市下伊勢畑地内	定点観測等

(履行期間)

第9条 履行期間は次のとおりとする。

令和6年4月3日～令和7年3月21日

ただし、準備期間3日間(土日含む場合5日間)を含む。

(業務内容)

第10条 本業務に従事する現場技術員は現場技術員(C)2人とし、その業務内容は次のとおりとする。

- 1 各種協議等に関する業務
 - ・ 基礎的資料の作成に関する業務
 - ・ 各種ソフトウェア（Microsoft Word・Excel 等）を利用した資料作成に関する業務
 - ・ CAD ソフトウェア（AutoCAD 等）を利用した事業計画、協議用資料に関する図面等の作成及び修正に関する業務
- 2 各種工事等に関する業務
 - ・ 水路、揚水機場等の設計及び工事の積算に必要な所定の図面、数量、その他の資料作成等に関する業務
- 3 監督に関する業務
 - ・ 現地立会、良質な品質を確保するための現場監督に関する業務
 - ・ 工事検査に必要な資料の作成に関する業務
- 4 事業実施に関する業務
 - ・ 施工の完了した施設の定点観測及び点検に関する業務

(業務場所)

第11条 業務場所は、那珂川沿岸農業水利事業所内及び当該事業実施地域内を予定しており、業務期間中は庁舎を無償で使用させるものとする。なお、詳細については、監督職員と協議の上決定するものとする。

(成果物)

第12条 成果物の提出は次のとおりとする。

- 1 業務実施報告書 1式
- 2 共通仕様書第2-4条から第2-19条の規定により実施した業務において作成した資料 1式
- 3 その他 必要な資料 1式

(成果物の提出先)

第13条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

茨城県水戸市中河内町960-1
関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所

(契約変更)

第14条 業務請負契約書第16条から第19条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第8条に示す「工事の概要」に変更が生じた場合。
- 2 第9条に示す「履行期間」に変更が生じた場合。
- 3 第10条に示す「業務内容」に変更が生じた場合。
- 4 第11条に示す「業務場所」に変更が生じた場合。
- 5 第12条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 6 その他

(作業上の留意事項)

第15条

- 1 通勤用及び本業務用に自動車等を必要とする場合は、受注者において用意するものとする。
- 2 業務履行にパソコン及びソフトを必要とする場合は、受注者において用意するものとする。

なお、原則として機能等については監督職員と協議のうえ決定するものとするが、最新のデータに更新（アップデート）したウイルス対策ソフトがインストールされ、ウイルスチェック済みのパソコンとする。

業務期間満了等で業務に使用したパソコンを撤去する場合には、ハードディスク等のデータは完全に消去し、その結果について監督職員の確認を受けるものとする。

- 3 受注者からの請求により発注者が必要と認めた場合には、庁舎の使用ができるものとする。この場合、机、椅子等は貸与する。

なお、貸与物件については、別途使用貸借申請書を監督職員に提出するものとする。

- 4 前項により庁舎を使用する場合には、庁舎管理上受注者は、予め本業務に従事させる現場技術員に会社名・氏名等について記載された名札を着用させるものとする。

(打合せ)

- 第16条 共通仕様書第1－5条による打合せについては、月1回以上行うものとし、管理技術者が出席するものとする。また、月2回目以降の打合せについては監督職員と協議の上、書面等により行うことができるものとする。

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

(定めなき事項)

- 第17条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。